

図書館が万能すぎる

第6次西栗倉村総合振興計画（後期）案

**「子ども村民会議」のみんなの意見は、
村の計画にどんなふうにかかれたかな？**

「西栗倉村総合振興計画（後期）」と比べてみたよ。

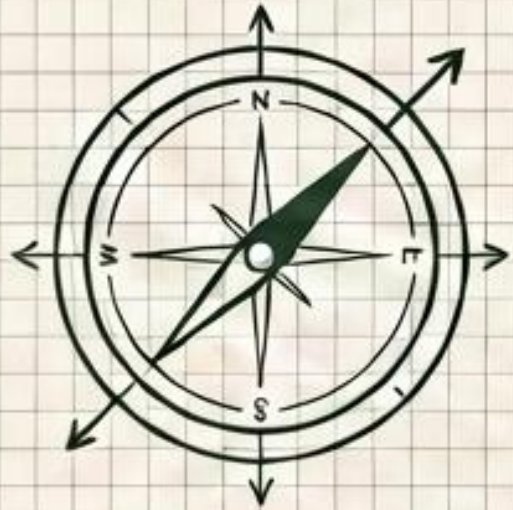
【目的】

自分たちの意見が、村の「計画」になるまでの流れを、実際の計画書を見て確かめよう。

2026年3月 西栗倉村役場作成

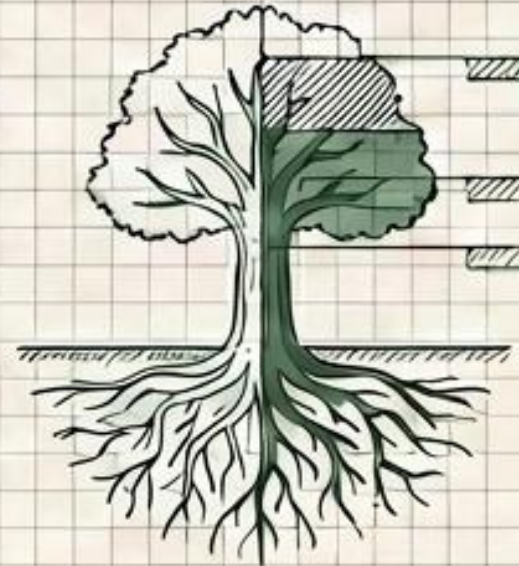
「総合振興計画」って、どんな計画？

計画期間：2026年4月～2031年3月



大事な計画

これは、村でいちばん大切な計画です。
「どんな西栗倉村にしていきたいか」
「そのために何をするか」を決めるもの
です。



計画の中身

計画は、大きく2つに分かれています。
「村の未来の姿」と、それを実現する
ための「具体的な取り組み」です。



大切なことにしぼる

全部の事が書いてあるわけ
ではありません。これからも元
気な村であり続けるために、
特に大切なことだけにしぼっ
ています。

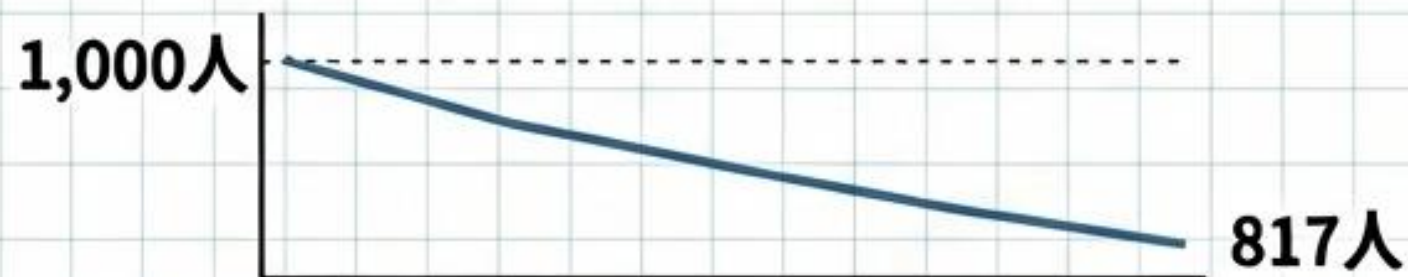


他の計画とのちがい

この計画は、村全体の大きな方向を決
めるものです。もっと詳しいことは、
教育などそれぞれの分野の計画で決
めていきます。

みんなで知ろう！わたしたちの村の『いま』

村の人口はどうか？



このままだと、2020年には1,398人だった村全体の人口が、2050年には817人に減ってしまうかも。

でも、村は「1,000人をキープする！」ことを目指しているよ。それに加えて、1学年の子どもの数が12人から5人に減るのを、10人に維持することも目指しているよ。

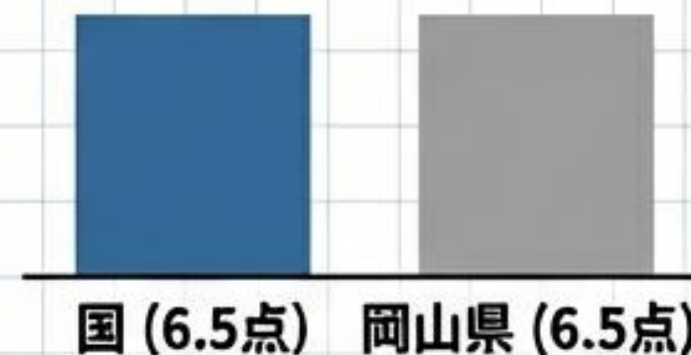
満足していること、困っていること



「上下水道の整備状況」はみんな満足。でも、「買い物」や「高校への通学」は、ちょっと不便みたい。

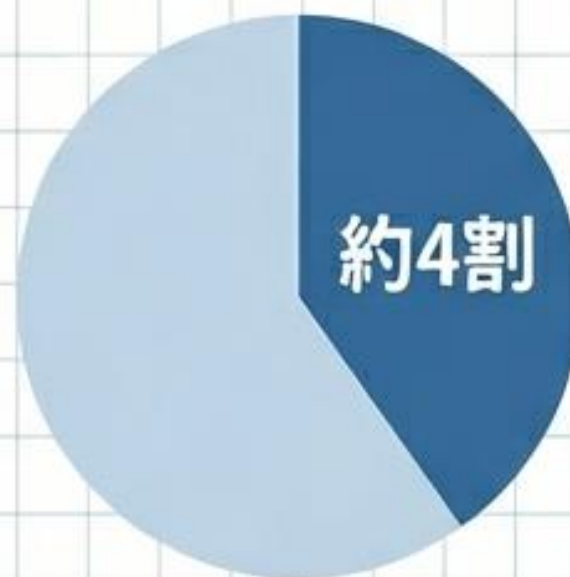
みんなの幸せ度は？

7.1点



2024年の平均は7.1点！
日本全体 (6.5点) や岡山県 (6.5点) よりも高いんだって。

これからも村に住みたい？



39歳以下の若い人たちで「ずっと住みたい」と思っているのは、約4割 (40%くらい)。若い人の気持ちが、ちょっと心配だね。

みんなの声を計画書のことばに「ほんやく」してみたよ

みんなの意見 (付箋そのまま)

高校生卒業し
しても、集ま
る機会がない

一度出ると
戻るタイミン
グが難しい

店が
すくない

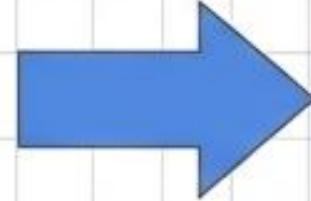
コンビニ・
スーパーがな
買い物が不便

オオサンシ
ョウウオや
ホタルがいる

あわくら
図書館が
万能すぎる

綺麗で過
ごしやすい

困りごとを
まとめる



見つかった 「よいところ・悪いところ」

悪いところ：
若い人とのつながりが
うすくなっている



悪いところ：
買い物や移動が不便



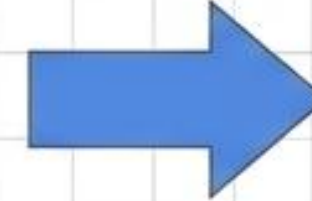
よいところ：
ここだけの豊かな自然
や生き物がいる



よいところ：
すてきな学びや文化の
施設がある



どうするか
決める



計画書に書かれた 「これからの方向」

村を出た人とつながり続け
るための工夫をしていきます

移動の困りごとを調べて、
助ける方法を考えていきます

オオサンショウウオが元氣
に暮らせる川づくりなどを
進めます

みんなが気持ちよく過ご
せる場所になるようにして
いきます

「採用されなかった」理由：どうして計画に入らなかったの？

1. 村の「未来の姿」と合っているか

水族館、動物園がほしい

【理由：村にしかない大切なものに力を入れる】

村の未来は「百年続く森の中で、生きることを楽しむ村」です。他の真似ではなく、村にしかない森や自然を守り育てることに、みんなの力やお金を集中させます。

2. 役場の「仕事の範囲」（みんなで助け合うことの限界）

大きいスーパーを建ててほしい

【理由：役場とお店（民間）の仕事の違い】

お店を経営するのは民間（会社や個人）の仕事です。役場の役割は、「移動の手助け」や「村で作ったものを売るお手伝い」を通して、みんなが暮らしやすい土台を作ることだと考えました。

3. 計画の「レベル（大きさ）」の違い

小中学校のトイレがきたない

【理由：大きな方向性と、細かい修理の違い】

この計画は、「村全体の進む方向」を示す一番大きな計画です。一つひとつの修理は、別の専門的な計画や日々の予算の中で対応する課題として分けました。計画には、すべてのことを書いているわけではありません。でも、トイレをきれいにすることは、ちゃんと進めていく予定なので、安心してくださいね。

みんなでチェックする目標：5年間の約束



84人
つながりの数

この村で育った人たちがSNSでつながるグループの人数を、令和12年度までにこの数にします。



年間90回
学びの機会

地域の大人が参加した小中学校の授業・活動の数を令和12年度までにこの数にします。



50%
健康習慣

1週間に420分以上運動する小中学生の割合を、令和12年度までにこの数にします。



前年度より向上
暮らしの楽しさ

「毎日の暮らしが楽しい!」と感じる人の割合をアンケートで調べて、前の年よりも増やします。

これらの目標は、皆さんの学びや生活に関わってくる内容でもあり、村を元気にしていくためのポイントでもあります。みんなで達成を目指して頑張りましょう!